

## 令和5年度 第1回宇和島市発達支援拠点整備検討委員会 会議概要

### 【開催日時】

令和5年7月5日（水） 18：25～19：40 ※対面で開催

### 【開催場所】

宇和島市役所 801 会議室

### 【出席者】

委員 12 名（全員出席）

事務局 5 名

### 【内容】

報告 施設整備の進捗について

議事 ①発達支援センターの運営について

②人員配置、役割について

### 【会議経過】

#### 1 開会

事務局より配布資料確認、協議内容に公開について

進行：委員長

#### 2 報告 施設整備の進捗について

「令和5年度第1回 宇和島市発達支援拠点整備検討委員会事前配布資料1」にそって、こども支援施設全体整備スケジュール、開設までのスケジュールについて事務局より説明（説明者：太田課長補佐）

#### [質疑応答・意見]

委員：現在わかたけを使っている方の施設の移行時期はどのような状況になるのか。切れ目なく移行できるのか。

事務局：切れ目なく移行できるよう進めている。

委員長：名称案（「宇和島市はぐくみサポートステーション」）について、どのタイミングで決定になるのか。

事務局：条例に記載した上で、それが議決されて決定という形と考えている。

#### 3 議事 ①発達支援センターの運営について

「令和5年度第1回 宇和島市発達支援拠点整備検討委員会事前配布資料2」にそって、発達支援センターの運用（案）の概要を説明

（説明者：上杉担当係長）

[質疑応答・意見]

委員：成人期において、二次的な障がいを伴った状態になった方々が支援機関にうまくつなげられない、非常に支援が薄く孤立しやすいという問題がある。本人主体に社会の中で生きていくことを支えるためのしっかりした機関、特に発達障がいに特化した機関というのは、宇和島この周辺にとって非常に貴重な社会資源だと思う。発達支援センターの理念に「切れ目のない支援」と謳っていただいている通り、はじまりから成人期までを見通した意識や視点を持っていただきたい。

事務局：おっしゃるとおり。

委員：機関連携の中で、各機関と発達支援センターの連携のとり方について確認したい。個人でなく組織として行ってほしいということか。

事務局：その点についてはまだ確定ではないが、担当者だけの相談ではなくまずは組織内で問題を共有、検討をした上でつなげていただきたい。これからは組織が一つのチームとして支援するということを考えていかないといけないと思っている。

委員：療育センターでも同様の状況がある。やはり一度機関の方で相談していただきアセスメントや方向性等情報を共有・整理した形で相談していただく方向性がよいのではないか。

委員長：発達に支援が必要なお子さんのいろいろな困りごとや問題について、個人だけではなく各組織、地域で検討する場やしきみを是非広げて行ってほしい。

委員：発達支援センターでの検査結果を、特別児童扶養手当等の申請に結果的に利用させてもらうことは可能か。

事務局：センターの検査の結果を信頼していただくということであれば利用していただくようになるかと思う。

委員長：発達検査を必要としているお子さんに対し発達検査のチャンスをどのくらい用意できるのかは大きなテーマだろう。併列するあけぼの園・わかたけとの協働協力体制も含めて宇和島のこの地域全体の中での人材把握や活用は非常に大きなテーマだろうと思うが、その点いかがか？

事務局：発達検査については、心理職として配置される職員の経験やスキルによってもずいぶん方向性が変わってくるため、現段階では明確な答えは差し控えたい。はじめは件数をこなすより、個別ケースに丁寧に対応したい。また検査結果を現場の適切な支援につなげることを優先したい。

**議事 ②人員配置・役割について**（説明者：上杉担当係長）

[質疑応答・意見]

委員：7名の方々は新しく採用される予定の方か。スタッフとしての準備期間はあるのか。

事務局：新しく採用する場合もあるし、庁内での異動もある。なるべく4月にスムーズにスタートできるよう、職員の意識統一ははじめ必要な準備をしていく。

委員：学校教育課では今年度から指導主事を1名増員した。発達支援センターの準備のために1名増員という形を取らせていただく。学校現場を熟知しているものが今発達支援センターの方に移動するという強みを生かし今後福祉課と連携していきたいと考えている。

委員長：他の職種についてもどなたをスタッフとして発達支援センターに配置していただけるかが重要。かつ一方で育成が必要な職種もあろうかと思う。その辺の兼ね合い等も是非ご検討いただきたい。

## 5 その他

[質疑応答・意見]

委員：避難確保計画の立案や避難訓練の実施等、災害時について、保護者の不安対応も含め子どもたちを守るために重点的に取り組んでいただいているということか。

事務局：おっしゃる通り。この点についてはあけぼの園、わかたけ、センター各施設だけの準備ではなく複合施設としての準備が必要と感じている。

委員：あけぼの園としても誰一人被害を出すことなく避難できるようあらゆる想定をし、センター、わかたけの方と相談させていただいて協力しながら具体的な方法を検討していきたいと思っている。

委員：宇和島市内では、成人の発達障害に対する治療できる病院に限られ、支援に難しさがあるのが現状。医療としても発達支援センターが成人も見えていただけるということで非常にありがたい。発達支援センターだけに任せるのではなくて、いろいろなところで相談できる場所を成人のために作っていくということが非常に大事だと思う。是非そういう相談ができる資源の開拓もしていただきたいと思う。

副委員長：課題もまだまだ残っているが、何とか来年の4月にスムーズに開設できるように引き続き準備を進めていきたい。

委員長：本日の話から平成30年の11月から（実際はその5～6年前から）続けて検討してきたことが、形として実際の姿が見えてきたことは、非常に感慨深い。

## 6 閉会

(事務局)：次年度開催日については改めて日程調整を行う。